

# 取り付け説明書



## MDA-5046

MDサウンド・フィールド・プロセッサー

68P11646Y25-0

### 安全にお使いいただくために、必ずお守りください

本機取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。ご使用前に、この取り付け説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。この取り付け説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

正しい取り付け  
正しい操作で  
安全運転

表示の意味

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
表示の例			
	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。		一般的な注意・警告を通告します。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。		一般的な禁止の通告をします。分解により傷害が発生する可能性がある場合の禁止の通告をします。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		
	<b>Memo</b>	この表示では、本機を取り付けるうえで補足説明を示します。	

### 警告

分解・改造をしない  
分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。



ヒューズ交換は容量を守る  
ヒューズ交換は、必ず規定容量(アンペア数)を守ってください。

規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。



配線作業は、バッテリーのマイナス端子を外してから行う  
配線作業は、バッテリーのマイナス端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らない  
コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対におやめください。コードの電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



取り付け・アース接続にはブレーキ類のボルト・ナットは使わない  
ステアリングやブレーキ系統やタンクなどの保安部分のボルトやナットは、取り付け・アース接続に絶対使用しないでください。これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。



### 注意

取り付け・配線は、専門家に依頼する  
本機 の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ず お買い上げの販売店 に依頼してください。



付属の部品を指定通りに使い、しっかりと取り付ける  
必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器 内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



正しい接続をする  
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



小物類は幼児の手の届かないところに保管する  
小物類 電池・ネジなど は幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



DC12Vマイナスアース車以外に使用しない  
DC12Vマイナスアース車専用です(分からない場合は、ディーラーで確認してください)。守らないと火災などの原因になります。



コード類は、運転操作の妨げとならないようにまとめる  
コード類は取り付け説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。



運転のじゃまになるところには取り付けない  
前方の視界を妨げる場所や運転操作を妨げる場所 ステアリング・シフトレバー等 )など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。



通風孔や放熱板をふさがない  
通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



水のかかるところ、湿気の多いところには取り付けない  
水のかかるところ、湿気や埃の多いところへの取り付けは避けてください。本機 に水や湿気・埃が混入しますと発煙や発火の原因となる場合があります。



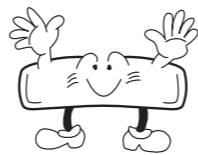
コードを挟まないように引き回す  
シートレールなどの可動部にコードを挟み込む、突起部に当たるなどしてコードを傷めないようにしてください。断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。



## はじめに

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げの店より入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分であることを確認してください。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取り付け説明書も合わせてご覧ください。
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。



## 1. 準備する

1 付属部品を確認する。  
工具 / 取り付け情報をそろえる。

取り付け用サラネジ (M5×8)



×4

取り付け用バインドネジ (M5×8)



×4

2 車を安全で平坦な場所に停める。  
パーキング・ブレーキをかけ、エンジン・キーを抜く。

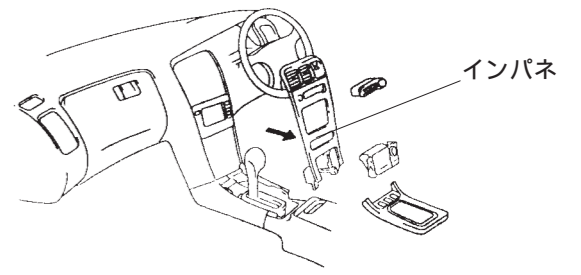
## 2. 外す (車両イラストは一例です)

1 バッテリー⊖端子を外す。

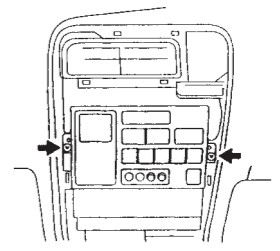


Memo コンピューターが装着されている車は、バッテリーの⊖端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。一部の車種(外国車)では、バッテリーの⊖端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくはディーラーへお問い合わせください。

2 灰皿、小物入れなどを外し、インストルメントフィニッシュセンターパネル(インパネ)を外す。  
取り付け情報を参照してください。

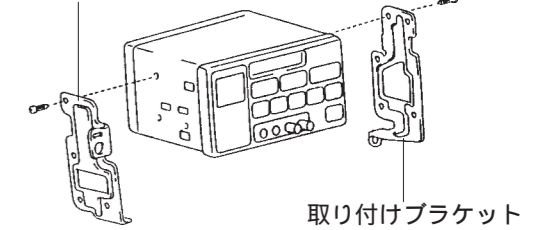


3 カーオーディオ取り付けブラケットを外す。  
取り付け情報を参照してください。



4 カーオーディオ取り付けブラケットからオーディオを外し、オーディオに付いているケーブルを外す。  
(この取り付けブラケットは、4.取り付ける 1 で利用します。)

取り付けブラケット



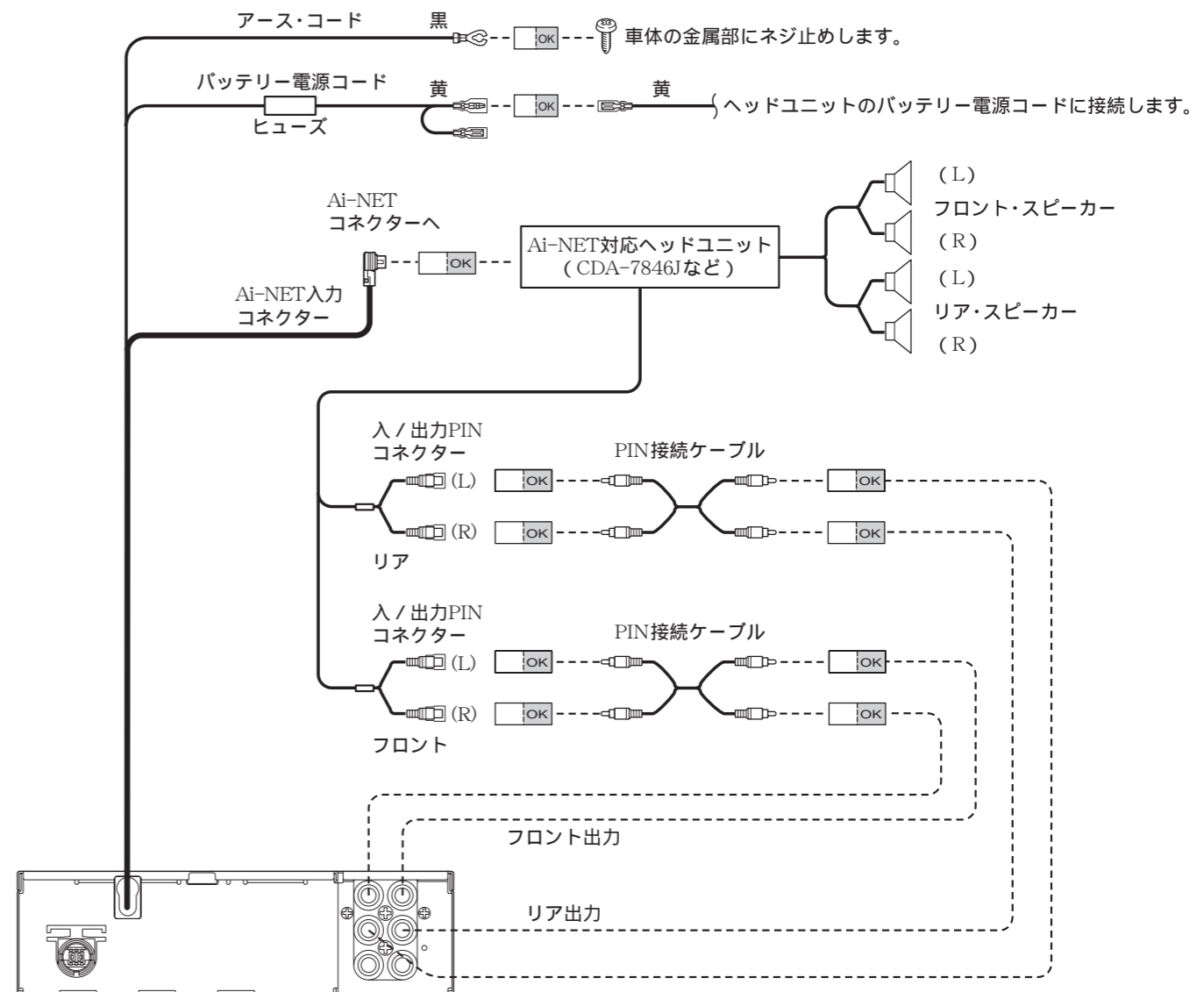
取り付けブラケット

## 3. 接続する .....接続するごとに OK に✓点をつけてください。

1 基本の接続をする。(本機とAi-NET対応ヘッドユニット[別売]を接続する)

### 注意

正しい接続をする  
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



システム切り替えスイッチ (出荷時設定位置)

2  1 (本機の底面部)

通常ヘッドユニット(CDA-7846J等)と組み合わせる場合"1"へ、3Dヘッドユニット(3DA-7885J等)と組み合わせる場合は"2"に切り替えます。

**注意** スイッチの切り替えは、必ず電源をOFFにしてから行ってください。

コード名称	補足説明
アース・コード	車のボディーの金属部分に確実に接続してください。
バッテリー電源コード	ヘッドユニットのバッテリー電源コードなど、常にバッテリーの⊕電源が供給されているところに接続してください。



Memo 車両雑音から守るために

- ・アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
- ・本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- ・バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

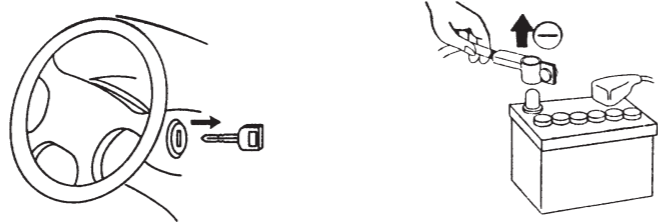
2 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻く。

3 正しい接続がなされているか確認する。  
✓点もれているところはありませんか。

4 バッテリー⊖端子を接続し、エンジン・キーをONにして動作を確認する。  
本機の電源が入るか  
(イルミネーションが点灯するか)

5 確認が終わったらエンジン・キーをOFFにして電源を切る。

6 エンジン・キーを抜いて、バッテリー⊖端子を外す。

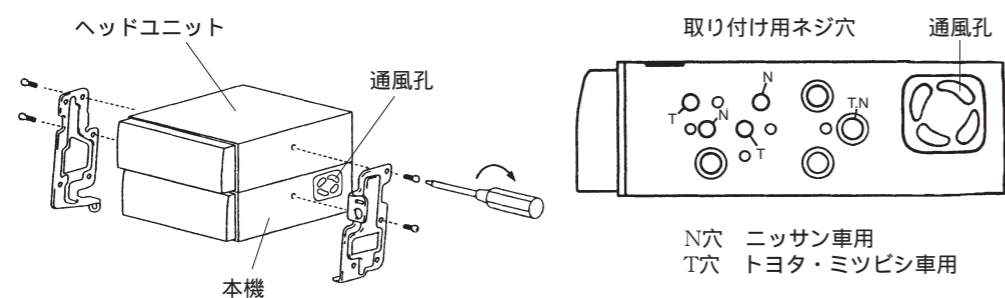


## 4.取り付ける

はじめに仮取り付けを行い、不自然な当たりがないことを確認した後、正式に取り付けます。

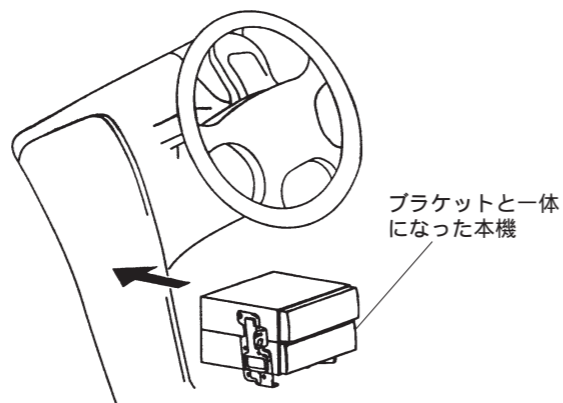
1 本機に取り付けブラケットを仮止める。(必ず付属品のネジを使用してください。)  
取り付け情報を参照してください。

**注意** 通風孔や放熱板をふさがない  
通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



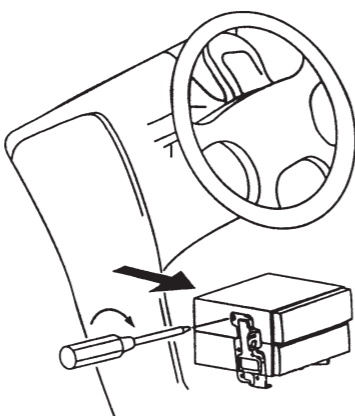
**Memo** ホンダ車に取り付けるときは、別売取り付けキットKH-14602 / KH-24602をお使いください。  
取り付けブラケットで通風孔をふさいでしまう場合(一部の三菱/スバル/スズキ車)は、販売店にご相談ください。  
通風孔をふさいだり、指定外取り付けキットはお使いにならないでください。

2 「ブラケットと一体化になった本機」を車両に取り付ける。

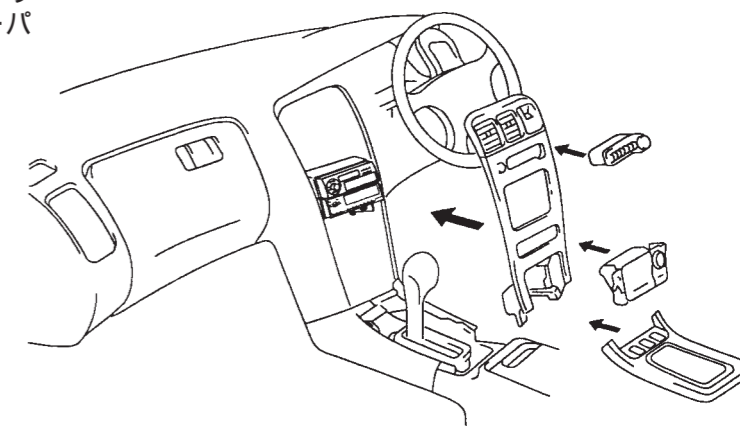


3 ダッシュボード類の不自然な当たりがないことを確認する。  
不自然な当たりがあったときは、取り付けブラケットのネジ穴を見直してください。

4 車側から「ブラケットと一体化になった本機」を取り外し、  
ブラケットと本機をしっかりと締めつける。



5 「ブラケットと一体化になった本機」を車側にしっかり  
締めつけ、インストルメントフィニッシュセンターパ  
ネルを取り付ける。  
取り付け情報を参照してください。



6 コード類を固定する。  
シートレールなどの可動部などに挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意してください。

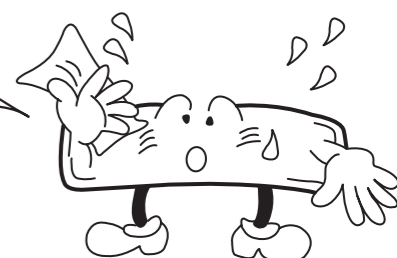
7 バッテリー⊖端子を接続する。

## 5.確認する

1 エンジン・キーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

2 ホーン、ストップ・ランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

おつかれさまでした!



## 6.システムアップ

1 Ai-NET対応ヘッドユニットおよびCDシャトル+外部アンプ+サブウーハーの接続

